



中田中だより

令和8年4月号

横浜市泉区中田北2丁目20番1号 電話803-3771 FAX805-4698

(4月17日発行)

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nakada/>

横浜市立中田中学校

校長 赤堀 貴



さあ、新しい1年のはじまり！

学校長 赤堀 貴

新入生189名を迎え、全校生徒564名で令和8年度をスタートすることができました。段階的に進められてきた35人学級が今年度から中1にまで適用され、176人からは6クラスになります。本校1学年一般学級生徒は179人で6クラスになりました。1年生の教室を回ると、1クラスだけ29人で他は30人です。やはり、人数が少なく教室の空間に余裕がうまれたと感じます。

新年度を始めるにあたって、自分なりの新しい目標を決め、それが実現できるように頑張っていきましょう。これまでまぶかったなと感じていることがあったら、年度の節目を切り替えるきっかけとし改めていきましょう。登校時間をはじめ時間に余裕を持って行動すること、予定を確認して忘れ物をしないようにすること、期限のあることに間に合わないことがないようにするなど、基本的なことをしっかり行っていきましょう。



楽しみなことを日々のエネルギーに

5月12日から3年生は修学旅行に出かけます。もうひと月をきっています。2年生は5月13日に横浜遠足、1年生は5月17日から自然教室です。学校から離れた場所での活動を楽しみにしている人は多いのではないのでしょうか。これらの行事が楽しい思い出になるように、新しい友達ができたり友達との絆を深められるチャンスにできるようにするといいですね。楽しみだなんて思うことがあると、毎日の平凡な生活にも活力が湧いてくるものでそれもありがたいことですね。

正門前のツツジ

肌を撫でる風は「寒さ」から「心地よさ」を感じさせてくれるようになりました。1年のうちで一番いい気候になりました。桜の開花が終わり、中田中学校の正門をはじめとした周囲には、これからツツジの花が咲き誇ります。けっこう見事で学校自慢の一つと思っています。登校する時に、ツツジを愛でる余裕も持てるといいですね。



横浜市戸塚区中田町〇〇番地

ある日、学校の近所を歩いていると、ふと民家の表札に目がいきました。縦書きに書かれたお名前の右側に「横浜市戸塚区中田町〇〇番地」と書かれていました。そうだ、この町は戸塚区だったんだと改めて思いました。私は幼少期深谷通信隊の近くに住んでいて、こぼと幼稚園汲沢小学校でしたので、この辺りの55年位前を知っています。地下鉄もなく、長後街道は片側一車線で渋滞も多く、イトーヨーカドーのところには神奈中バス戸塚営業所の車庫があり、バスがたくさん並んでいました。半世紀単位だと、やはり町は大きく変わるものです。この先環状3号線の大きな道路が中田中の西側を南北に通る計画があるようなので、この辺りの様子もさらに変わっていくことでしょう。

今年、泉区は40周年です。様々な人はこれから大人になって中田からの頃に過ごしたところはいつまでも



記念イベントが行われるようです。みなさん離れる人もいるのだと思いますが、子ども大切な場所になるものです。今年の記念イベントに何か参加してみて、思い出にするのもいいですね。

【入学式・対面式】

令和8年4月7日（火）、新入生189名を迎え、体育館にて入学式を行いました。来賓として3校学校運営協議会の皆様、保護者の皆様にご参列いただき、新入生は緊張した面持ちながらも、希望に満ちた様子で式に臨んでいました。入学式後は学級活動を行い、配付物の確認などに真剣に取り組む姿が見られました。これから始まる中学校生活への期待を胸に、それぞれが新たな目標をもって第一歩を踏み出しました。



始業式・入学式の翌日、体育館にて対面式を行いました。全校生徒が一堂に会し、緊張した面持ちの1年生を、2・3年生が温かい拍手とまなざしで迎えました。上級生の落ち着いた姿に、1年生も少しずつ表情が和らぐ様子が見られました。中田中学校の生徒が全員そろい、令和8年度の学校生活が本格的にスタートしたことを実感する、心温まるひとときとなりました。

【生徒の作文・写真の掲載について（個人情報への取扱い）】

本校では、今年度も学校だよりや学年・学級だより等において、お子様の作文や学校生活の様子が分かる写真を掲載していきたいと考えております。

つきましては、掲載に同意されない場合やご不明な点がございましたら、恐れ入りますが学級担任までご連絡ください。

【令和8年度 各種相談窓口】

○いじめ相談窓口

【生徒指導専任】新岡 泰佑

【養護教諭】中村 実紀

【人権教育担当】倉澤 祐美子

※次の相談窓口もご利用いただけます。

・24時間子供SOSダイヤル
0120-078-310（全国共通）

○校内「わいせつ・セクハラ」相談窓口

【養護教諭】中村 実紀

【副校長】青木 英一郎

※教育総合相談センターの一般教育相談も、

セクハラ相談窓口としてご利用いただけます。

電話：045-624-9414

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）

○ 特別支援教育相談窓口

【特別支援教育コーディネーター】小泉 みや子

※特別支援教育について

本校では、生徒一人ひとりの学校生活を支える「特別支援教育」に取り組んでいます。保護者の皆様と全職員が共通理解をもち、それぞれの生徒に合った支援を継続して行うことで、生徒が本来持っている力を伸ばし、学校生活における課題の改善を目指しています。

支援を希望される場合は、学級担任または特別支援教育コーディネーターまでご連絡ください。

※校内ハートフルについて

本校では、令和6年9月より校内ハートフル事業を実施しています。生徒一人ひとりに合った「安心できる居場所」と「学びの機会」を提供することを目的としています。

校内ハートフルルームの開室中は、【ハートフル支援員】湯田 美幸 が在室し、生徒の学校生活をサポートしています。